

早稲田の杜金管合奏団

第10回定期演奏会



Blue Mansion, Penang, Malaysia 2009/11/22

The Waseda Brass the 10th regular concert

2010年2月21日(日)開演13:30 中央区日本橋公会堂

Part1

ワセキンのためのファンファーレ (2010年版)

由谷一幾作曲

ノクターン

ボロディン作曲 大原実編曲

ブラジル風バッハ第5番より

ヴィラ=ロボス作曲 大原実編曲

典礼風ファンファーレより

トマジ作曲

胡桃割り人形より

「行進曲」「中国の踊り」「葦笛の踊り」「コンペイトウの踊り」「トレパーク」「花のワルツ」

チャイコフスキー作曲 大原実編曲

Part2

ブラジル

バロッソ作曲 大原実編曲

恋人と来ないで

松任谷由実作曲 大原実編曲

Blue Rain Blue

松任谷由実作曲 大原実編曲

パヴァーヌ

ラヴェル作曲 大原実編曲

Bossa Trombone

ジョービン作曲 大原実編曲

交響組曲パイレーツ・オブ・カリビアン

バデルト作曲 J.ワッソン、大原実編曲

Part 1

ワセキンのためのファンファーレ (2010年版) (由谷一幾作曲)

ワセキンのトレーナー兼打楽器奏者、由谷一幾によるワセキン委嘱作品。会場の特性を取り入れた3群の金管アンサンブルによる立体的なファンファーレ。昨年に続く2曲目の作品です。

ノクターン (ボロディン作曲 大原実編曲)

弦楽四重奏曲 第2番 ニ長調から第3楽章「夜想曲」を、金管アンサンブルと2本のヴァイオリンのために編曲しました。三部形式、ソナタ形式、変奏曲形式が折衷されたものとなっています。

ブラジル風バッハ第5番より (ヴィラ=ロボス作曲 大原実編曲)

エイトル・ヴィラ=ロボス (Heitor Villa-Lobos 1887-1959) はブラジルの作曲家です。終生 J.S. バッハを敬愛していたヴィラ=ロボスは、ブラジルの民俗音楽を素材にバッハが書いた様式で創作しようと試み、9曲の「ブラジル風バッハ」を作曲しました。本日演奏する第5番は8本のチェロとソプラノのために書かれた曲で、このシリーズの中でもっとも有名です。本日は2本の独奏トランペットをフィーチャーして第2曲「踊り」を演奏します。

典礼風ファンファーレより (トマジ作曲)

アンリ・トマジ (1901-1971) はマルセイユ出身のフランスの作曲家。この曲は歌劇「ドン・ファン・ド・マニャラ」の音楽を元に10本の金管楽器と打楽器のために作曲されました。本日は第4曲「聖金曜日の行列」を演奏します。まずチューバによってテーマが演奏され、トランペット、ホルン、トロンボーンがオブリガードをつける形で進行します。エンディングの手前でこのテーマは一旦途絶え、トロンボーンを中心としたコーラルが荘厳な曲想を奏で、再びテーマが戻り、打楽器が加わって壮大に終わります。

胡桃割り人形より (チャイコフスキー作曲 大原実編曲)

行進曲……Tempo di marcia viva、ト長調、4分の4拍子 (ロンド形式)。小さくなってハツカネズミに襲われそうになるクララを助けるために駆けつける、おもちゃの兵隊の行進曲。隊長が胡桃割り人形。
中国の踊り……Allegro Moderato、変ロ長調、4分の4拍子 (小三部形式)。お茶の葉の妖精の踊り。
箏笛の踊り……Moderato Assai、ニ長調、4分の2拍子 (小ロンド形式)。おもちゃの笛の踊り。バレエでは「フランスの砂糖菓子の精の踊り」という設定のため「フランスの踊り」とも呼ばれます。
コンペイトウの踊り……お菓子の国の女王という設定なので、可憐な中にも気品と威厳が漂う役どころ。
トレパーク……トレパークはロシアの農民の踊る2拍子の激しい踊り。夢のお城で、チョコレートが踊ります。
花のワルツ……Tempo di Valse、ニ長調、4分の3拍子 (複合三部形式)。原曲ではハーブのカデンツァののちにホルンにより主題が提示される。続くワルツはだれでも知っている有名な旋律。華やか。

Part 2

ブラジル (バロツ作曲 大原実編曲)

原題は「Aquarela do Brasil」(ブラジルの水彩画)。1939年にアリー・バロツが作曲したサンバの代表曲。ラテン・パーカッションが軽快なサンバのリズムを刻み、その上にゆったりしたメロディが流れて、いかにも水彩画といった風情をかもしだす。

恋人と来ないで (松任谷由実作曲 大原実編曲)

1980年12月発売のアルバム「Surf&Snow」の中の1曲。2人だけの思い出にするため、最後の場所となるカフェテリアには、新しい恋人を連れて来ないで、と歌う。

Blue Rain Blue (松任谷由実作曲 大原実編曲)

1999年11月リリースのアルバム「Frozen Roses」からの1曲。過ぎ去った恋人の気持ちや時間の移ろいを雨に託して歌う。同じ失恋の歌でも、こちらは「そんな思い出は雑誌みたいに読み飛ばして捨ててしまおう」と、吹っ切れている。

パヴァーヌ (ラヴェル作曲 大原実編曲)

フランスの作曲家モーリス・ラヴェルが1899年に作曲したピアノ曲、および1910年にラヴェル自身が編曲した管弦楽曲。ルーヴル美術館所蔵の17世紀スペインの宮廷画家ディエゴ・ベラスケス(1599-1660)が描いた、若い王女(マルガリータ・テレサ・デ・エスパーニャ)の肖像画にインスピレーションを得て作曲しました。ワセキン版では途中からリズムが一変します。

Bossa Trombone (ジョービン作曲 大原実編曲)

大原実が、ボサノヴァの名曲「ワン・ノート・サンバ」と「デサフィナード」をメドレーにし、トロンボーン五重奏にチューバと打楽器を加えて編曲した作品です。

交響組曲「パイレーツ・オブ・カリビアン」

(K.バデルト作曲 J.ワッソン、大原実編曲)

黄金のメダル〜ブラックパール号〜海賊の洞窟へ〜最後の銃弾〜彼こそが海賊

2003年に公開されたアメリカ映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」の第1作「呪われた海賊たち」から5曲を組み合わせておくりします。作曲者はドイツのクラウス・バデルト。原曲をJ.ワッソンが吹奏楽版の交響組曲にアレンジしたものを、大原実が金管アンサンブル版に再編したものです。

早稲田の社会管合奏団 *The Waseda Brass*

| | |
|-------------|--|
| Conductor | 中島章博 |
| Trumpet | 磯崎直人 SCHILKE/B, YAMAHA/FL 大内仁 SCHILKE/B, YAMAHA/FL 北村和弘 SCHILKE/B, YAMAHA/Picc concert master 工藤剛 YAMAHA/B MONETTE/C 久保正彰 BACH/B master of ceremony 杉山雅彦 BACH/B, YAMAHA/FL 武内昌徳 BACH/B, C 坪井賢一 BACH/B, SCHILKE/C/E♭ 山瀬幸雄 SCHILKE /B, GETZEN/FL |
| Horn | 川俣裕章 ALEXANDER 103 高橋正幸 ALEXANDER 200 辻村憲治 ALEXANDER 200 矢澤元 ALEXANDER 103 渡辺勇次 ALEXANDER 103 |
| Trombone | 赤尾達也 BACH inspector 井上隆史 GETZEN 内田憲一 THEIN 小倉啓美 BACH 酒井忠雄 KROMAT/Bass 天明昭男 COURTOIS |
| Euphonium | 山田徹 WILSON |
| Tuba | 青木祐介 YAMAHA/C 今泉康弘 ST.PETERSBURG/B 牛野広一郎 MEISTER ANTON/C 駒形正人 RUDOLF MEINL/C |
| Percussion | 小田崇志 由谷一幾 |
| Arrangement | 大原実 Stage Manager & Violin 三浦明子 渡辺裕子 |

中島章博（指揮者） profile

1981年、フランス、パリ生まれ。早稲田大学理工学部、東京大学工学系研究科修士課程修了。東京大学工学系研究科博士課程へ進学。2007年10月よりオーストリア共和国ザルツブルク・モーツァルテウム大学指揮科に在籍。指揮をクルト・レーデル、デニス・ラッセル・デイヴィス、杉山直樹、ホルヘ・ロッター、シメオン・ピロンコフの各氏に、フルートを湯川和雄、岩佐和弘の両氏に師事。2006年以降、リトアニア・カウナス交響楽団、チェコ国立モラヴィア・フィルハーモニー管弦楽団、ブルガリア・クラシックFMオーケストラ、ザルツブルク・モーツァルテウム大学交響楽団等を指揮している。現在、ザルツブルクにて研鑽を積む一方、帰国時にはアマチュア・オーケストラやアンサンブルの指揮者、トレーナーとしても活躍している。早稲田の杜金管合奏団とは、2006年11月に行われたマレーシア・ペナン州への演奏旅行以降、各種演奏会の指揮を行なっている。

ワセキン年次報告 annual report

定期演奏会も10回目となりました。なんと、10周年！ 本日は記念すべき演奏会であります。2009年のワセキンは、2月に第9回定期演奏会、11月に第4回マレーシア公演を開催しました。マレーシアのペナン島ジョージタウン市で4年連続のコンサートを開き、盛況でありました。全て中島章博の指揮です。今回は、11月21日午後公開演奏会を開き、その夜、海岸の公園で野外演奏会に出演、ワセキンで2曲、ペナン交響吹奏楽団（PESS BAND）とジョイントして6曲ほど演奏しました。翌22日午後はセント・ニコラス盲学校ホールで演奏会を開き、夕方から海岸のレストランでPESS BANDのメンバーと交流、夜は宿舎のブルーマンション（表紙写真参照）に日本の在ペナン総領事ご夫妻も招いて打ち上げを催しました。

私たちは平均すると月に2回ほど練習しています。トレーナーをお願いした皆様にはたいへんお世話になりました。最後に、今シーズンの5人のトレーナーの皆様をご紹介します（文責・坪井賢一 / 順不同・敬称略）。

村田厚生・・・桐朋学園大学音楽学部卒業。ドイツ学術交流会給付留学生としてベルリン国立音楽大学を卒業。現在、ソロ、アンサンブルなどで活躍中。ワセキンの某インスペクターが村田さんのレッスンに通っております。

今瀬康夫・・・国立音楽大学器楽科ホルン専攻卒業。ワセキンの団員3人と長野高校吹奏楽班の同窓。練習後は必ず反省会（宴会）にお付き合いいただいています。内外のオーケストラや室内楽で演奏しつつ、指導者としても活躍中。

瀧澤寛・・・武蔵野音楽大学器楽学科トランペット専攻卒業。レーゲンスブルク市立歌劇場、同管弦楽団へ留学し、帰国後はトランペット奏者兼指揮者として活躍。ワセキンの団員4人が所属する三井物産管弦楽団の指揮者として知り合いに。

佐伯茂樹・・・早稲田大学交響楽団を経て東京藝術大学でトロンボーンを専攻。現在、東京藝術大学講師、東京ヒストリカルプラス主宰。ワセキンの団員が多数、奏法から音楽史の勉強までご指導いただいています。

由谷一幾・・・早稲田大学交響楽団出身の打楽器奏者、作編曲家。ワセキンでは打楽器演奏のほかトレーナー、作編曲も。今回もオリジナル作品のファンファーレを作曲してくれました。

応援します。あなたの専門店「ダク」

Musical
Instruments
Shop

DAC

管楽器はダクで。

お問合せ先 **TEL(03)3361-2211**

FAX(03)3361-4300
Eメール:info@kkdac.co.jp

営業時間 11:00~20:00 (※日祝日は10:30~18:00)
●ダクの定休日は毎月第1・第3水曜日です。(ただし祝日を除く)

株式会社ダク 東京都新宿区百人町2-8-9 (〒169-0073)
ダクのホームページ <http://www.kkdac.co.jp/>



ダクの運営するミュージックスクール
クラシックコースとポピュラー&ジャズコース
随時生徒募集中!

MUSIC SCHOOL
Da Capo
ダカーポ

●入会のお問合せはお電話に
TEL(03)3361-4110
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-6-4
※音楽器店「ダク」でもお問合せを受け付けております。